

### H31b 楯座新星 V475 Sct の多色測光および分光観測

田辺健茲、西祐一、山田典美、田口泰基、小泉充男 (岡山理科大)、藤井貢 (JAPOA)、他  
VSNET Collaboration Team

楯座新星 (Nova Sct 2003、変光星名 V475 Sct) は 2003 年 8 月 28 日に西村栄男氏によって発見された。岡山理科大チームは岡山理科大学 21 号館屋上の天文台の 28cm Schmidt Cassegrain ならびに 21cm Cassegrain を用いてこの新星を BVRI フィルターによる測光観測を行い、光度曲線を求めた。また分光観測が藤井貢によって藤井・美星天文台で行われたので、あわせて報告する。観測期間はいずれも 8 月末から、減光して観測が困難になる 11 月初旬まで行った。

得られた光度曲線から、この新星は slow nova に分類されることが考えられる。また、急激な減光は特に B 等級において顕著であることから、ダストの形成、さらには nebular phase へ移行したものと思われる。この時期の分光データにも、初期に現れなかった輝線が見えることは、nebular phase への移行を示唆するものと考えられる。

なお、測光データの処理は AIP4Win と MiraPro の両方で行ったが、基本的な差異は見られなかった。